

コースコード：CO-SECPLUS

税込価格：165,000円 (税抜価格：150,000円)

日数：3日間

ここに注目!!

CompTIA Security+ (SY0-701) の公式カリキュラム (5日間) と教材をベースに、ご受講いただきやすいよう3日間に短縮したトレーニングです。ラボ教材が含まれていますが、コース内での実施は限定されますので、自己学習が必要です。試験対策に特化したトレーニングではございませんのでご注意ください。

CompTIA Security+認定資格 (試験番号：SY0-701) は、IT業務の中でも、最も成長が早く、そして人材が必要とされているセキュリティ分野におけるスキルを評価できるよう設計されています。ただし、対象とする範囲はかなり広く、また内容の理解と習得には (前提知識や経験によっては)、十分な自己学習が必要になります。

英語での一社向け研修も開催可能です。 [こちら](#) からお問い合わせください。

We can run this training in English. Please ask [\[Click here\]](#).

当社のトレーニングを人財育成に採用いただいた導入事例は以下でご紹介しています。

[株式会社パソナテック様](#)

[ブラザー工業株式会社様 1](#)

[ブラザー工業株式会社様 2](#)

[防衛省 陸上自衛隊様 \(2024年\)](#)

[防衛省 陸上自衛隊様 \(2025年\)](#)

[海上保安庁様](#)

本トレーニングに関連する資格を取得された方にお話を伺いました。

合格体験記は [こちら](#)

本トレーニング以外のセキュリティ関連トレーニングは以下でご紹介しています。

[セキュリティトレーニング](#)

受講対象者

このトレーニングはこのような方におすすめです。

- ・ CompTIA Security+認定資格 (試験番号：SY0-701) の取得を目指す方
- ・ サーバー、クライアント、およびネットワークのセキュリティ、セキュリティマネジメント、トラブルシューティングなどのセキュリティの基本を広く学習したい方

前提条件/前提知識

このコースを受講する前に受講者が習得しておく必要がある知識およびスキルは次のとおりです。

- ・ セキュリティ関連業務の2年程度の実務スキル
 - ・ 以下の基礎知識または経験があるとなおよい
- ネットワーク
プログラミング
技術的情報セキュリティ

目的

このコースを修了すると次のことができるようになります。

- ・セキュリティコンセプトの概要
サイバーセキュリティに関する重要な用語と概念を取り入れることで、試験全体を通じて説明されるセキュリティ管理の基礎を提供します。
- ・脅威、脆弱性、軽減策
一般的な脅威、サイバー攻撃、脆弱性、セキュリティインシデントへの対応と、ハイブリッド環境の監視とセキュリティ確保のための適切な軽減策に重点を置いています。
- ・セキュリティアーキテクチャ
さまざまなアーキテクチャモデルのセキュリティ上の意味、企業インフラストラクチャを保護するための原則、データを保護するための戦略を含みます。
- ・セキュリティオペレーション
セキュリティと脆弱性管理手法の適用と強化、適切なハードウェア、ソフトウェア、データ管理のセキュリティへの影響も含まれます。
- ・セキュリティプログラムの管理と監督
ガバナンス、リスク管理、コンプライアンス、アセスメント、セキュリティ意識に関するSecurity+の職務に必要な報告およびコミュニケーションスキルをより反映させるために更新されています。

アウトライン

セキュリティの基本概念の要約

セキュリティの概念

セキュリティ制御

脅威の種類と比較

脅威アクター

攻撃対象領域

ソーシャルエンジニアリング

暗号化ソリューション

暗号アルゴリズム

公開鍵基盤

暗号化ソリューション



IDとアクセス管理の実装

認証

認可

ID管理

エンタープライズネットワークアーキテクチャのセキュリティ強化

エンタープライズネットワークアーキテクチャ

ネットワークセキュリティアプライアンス

セキュアな通信

クラウドネットワークアーキテクチャの保護

クラウドインフラストラクチャ

組み込みシステムとゼロトラストアーキテクチャ

回復力とサイトセキュリティの概念

資産管理

冗長性戦略

物理的セキュリティ

脆弱性管理

デバイスとOSの脆弱性

アプリケーションとクラウドの脆弱性

脆弱性特定方法

脆弱性分析と修復



ネットワークセキュリティ機能の評価

ネットワークセキュリティベースライン

ネットワークセキュリティ機能の強化

エンドポイントセキュリティ機能の評価

エンドポイントセキュリティの実装

モバイルデバイスのハードニング

アプリケーションのセキュリティ機能の強化

アプリケーションプロトコルのセキュリティベースライン

クラウドとWebアプリケーションのセキュリティ概念

インシデント対応とモニタリングのコンセプト

インシデント対応

デジタルフォレンジック

データソース

アラートおよび監視ツール

悪意のあるアクティビティの指標の分析

マルウェア攻撃インジケータ

物理攻撃とネットワーク攻撃の指標

アプリケーション攻撃インジケータ

セキュリティガバナンスの概念



ポリシー、標準、手順

変更管理

自動化とオーケストレーション

リスク管理プロセスの探究

リスク管理プロセスと概念

ベンダー管理の概念

監査と評価

データ保護とコンプライアンスの概念の要約

データ分類とコンプライアンス

人事ポリシー